

讃岐うどん専門店

「たも屋」全国FC展開

まず京都と大阪に出店 関東含め年6〜7店

讃岐うどん専門店のたも屋（高松市、黒川保社長）が全国展開に乗り出す。フランチャイズチェーン（FC）方式で、関西や関東地区を中心に年6〜7店のペースで出店していく考え。手打ち製法にこだわり、高松市の店舗で研修を受けた職人が提供する「本場の讃岐うどん」としてアピールしていく。

「手打ち」本場アピール

全国展開の第1弾として、16日に京都府福知山市にFC店の「福知山店」をオープンした。今年末までに大阪でも出店する予定。

たも屋は香川県内に3つの直営店のほか、愛媛、徳島、高知の四国3県で6つのFC店を展開している。今回の福知山店は、たも屋としては10店目となる。

たも屋の特徴はセルフ傘下のはなまる（東京・



16日にオープンしたFC店の「福知山店」（京都府福知山市）

中央）などが全国展開している。香川県内では、四国旅客鉄道（JR四国）グル

ームのめりけんや（香川県宇多津町）が首都圏の駅ナカに出店しているが、多くの讃岐うどん店は家族経営の小規模な店舗が多く、県内資本の企業が全国展開するのは珍しい。たも屋は女性が気軽に利用できるよう、職人を含む店員すべてが女性の讃岐うどん店を高松市中心部にオープンするなど、顧客のすそ野拡大に

取り組んできた。四国各店が軌道に乗り、全国展開する体制が整ったと判断した。